

入札監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札監視委員会の平成23年度第2回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成23年8月23日(火) 14:00～16:00

会 場 北九州市庁舎5階 特別会議室A

平成23年度 第2回 北九州市入札監視委員会 議事概要

1 会議名

平成23年度 第2回 北九州市入札監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成23年8月23日(火) 14:00～16:00

会場 北九州市庁舎5階 特別会議室A

3 出席委員

阿野 寛之、柿内 よし子、菊池 裕子、高橋 衛、藤田 賢一郎

4 議事

(1) 平成23年度第1四半期の工事契約状況等の報告

次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(2) 平成23年度第1四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成23年度第1四半期に契約をした工事の中から、阿野委員が10件(契約室契約分10件(内2件は、水道局分))を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 合併入札はどんな場合に行うのか。

(答) 起工課が違うが工事箇所・時期等が同じ場合は、1社の業者が受注した方が現場も錯綜しないで済むので、起工課と協議し合併入札を行っている。また、入札も1回で済む利点もある。

(問) 総合評価方式の入札の場合、業者は価格以外の評価点をどれくらい分っているのか。分っていれば、評価点が上位の業者が、最低制限価格を下回る入札を行わないと思うのだが。

(答) 自社の工事成績や地域貢献などの評価点は概ね分っているが、他社の評価点は分からない。ただ、優秀な技術者を配置するかどうかで評価点に違いが出てくるため、この点を踏まえ入札金額を決定することができる。

(問) 入札参加業者のほとんどが最低制限価格を下回り、一番高く入札した業者1社だけが最低制限価格を上回った場合、その業者が落札者となるのか。

(答) 制度上しかたない。少しでも多くの業者を入札に参加させる等の対策を検討したい。また、現在は優れた積算システムソフトがあり、落札しようとする業者は最低制限価格ギリギリの入札を行うため、ランダム係

数によって落札結果が左右される。ランダム係数は導入して日が浅いので、今後関係者と協議を重ね改善していきたい。また、ランダム係数を廃止すると「くじ引き」の回数が増えたり、きちんと積算をしない業者が落札者となる可能性がある。

(問) 東北大震災の影響で、工事の遅れや資材不足など問題はなかったか。

(答) 現在のところ問題はないが、今後の復興状況によっては影響が出る可能性はある。

(問) 一般競争入札と指名競争入札では、入札までの期間にどれだけ違いがあるのか。

(答) 指名競争入札の方が公告を行わないので、1～3週間ほど早く入札が出来る。

(問) 小学校の建築・機械工事で、全市内業者を対象にして指名競争入札を行っているが、混乱は無かったか。

(答) 混乱は無かったが、どうして全市なのかという問合せはあった。また、工期が夏休みに集中することについては、業者が理解してくれている。

(問) Aランクの造園工事については、従来から他の工種に比べて比較的落札率が高い傾向にあるがどうしてか。

(答) もともとAランクの造園工事業者の数が少なく入れ替わりもあまり無いので、長年の経験で落札率が推察できると思われる。ただ、他の造園工事で、ABランク対象の工事では落札率が82.2%とかなり下がる結果となった。このことを踏まえ、今後起工課及び関係機関と協議し発注の有り方を検討していきたい。

1 次回の工事の抽出は、柿内委員が担当することとなった。

2 次回の委員会は、平成23年11月25日(金)に開催することとなった。